



【学校教育目標】

人間性豊かでたくましく主体的に行動する児童の育成

～すすんでやる子 がんばる子 思（おも）いやりのある子～

自分も人も大切に・・・“笑顔あふれる西浜小学校”をめざして

今日から前期の後半が始まりました。まだまだ暑さは続くようですが、子どもたちも保護者・地域の皆様も夏バテなどされていませんか？夏休み中は、校舎や運動場など学校の中は子どもたちの遊び声は聞こえず、工事の音が響いていましたが、やはり、学校に子どもたちの笑顔と声が戻ってくると、こちら笑顔になりますね。子どもたちの笑顔は万能薬です。

この夏休みは、すぐに浜降祭があり、納涼盆踊りもありました。残念ながら、サザンビーチの花火大会は中止となりましたが、子どもたちにとって、西浜学区での思い出や経験が素晴らしいものであり、今後に生かし、未来につなげていくことができるものであることは誇りですね。

夏休み前の7月7日に柳島スポーツ公園のそばに「道の駅 湘南ちがさき」ができました。この夏休みの間に行ってみようと思っていたのですが、毎日混雑のようで、まだ行くことができていません。みなさんはもう行かれましたか？西浜小学校では、道の駅の見学に行き、茅ヶ崎の特産物やお店の方の思いなどを学習していくことを予定している学年もあります。西浜学区はもちろん、茅ヶ崎のことを知ることで、郷土愛、地元愛を育て、さらに「笑顔あふれる西浜小学校」、「笑顔あふれる西浜学区」にしていきたいですね。



例年、海水浴などで茅ヶ崎を訪れる人が多く、湘南ナンバー以外の車をたくさん見ますが、今年はさらに多くなっているような気がしました。いつも通っている道路なら、どこで小学生が多く遊んでいるとか、自転車が通ってくる道はここだとか、わかっていることが多いのですが、初めて来た方やあまり通らない方にとっては、そのような場所がわかりません。学校でも子どもたちに話をしていきますが、ご家庭でも、放課後や休みの日などでの安全について、お話しいただければと思います。

9月1日と言えば、「防災の日」です。今から、102年前の9月1日に関東大震災があったこともあり、1960年に9月1日が防災の日となったそうです。私が子どものころや先生になってすぐのころは、防災の日である9月1日に防災訓練をしていたので、始業式（そのころは3学期制だったので）と引き渡し訓練が同じ日だったときもありました。

この夏休みには、ロシアのカムチャツカ半島付近で地震があり、茅ヶ崎市にも津波警報が発令されました。市内の小中学校全校が避難所となったので、西浜小学校にも避難されてきた方がいらっしゃいました。中学校などでは、部活動を行っていたこともあり、500人を超える方々が避難した学校があるという話を聞きました。西浜小学校では、目の前にサザンビーチちがさきがあるので、海水浴場から避難してきた方々もいて、150人ほどでした。学校に備蓄している非常食等も使用しましたが、警報が解除されずに、一晩過ぎてしまうこともあるのではないかと思います。海岸沿いのお店を確認しましたが、どこも臨時休業で、新たな食糧確保はできませんでした。私の家では、水は備蓄していますが、食糧はあまりありません。みなさんのご家庭では、非常食の備えは大丈夫でしょうか？

また、学校では、「自分の身は自分で守る」ことも日頃より子どもたちに伝えていますが、今回の避難所設営時には、海水浴場のライフセーバーの方々の協力がとても助かりましたし、頼りになりました。自分の身は自分で守ることも大切ですが、互いに助け合う、励まし合うことの大切さも感じました。「自助・共助」の大切さも、子どもたちとともに語っていききたいと思います。